



上◇ダイニング アールが美しい椅子の曲線とアーチの柔らかい曲線が調和したダイニングは、寛ぎと安らぎに溢れ、楽しい会話が弾む空間になっています。  
右◇テラス ベンチから望むウッドデッキ越しの景色は、緑豊かな自然に溢れ、気分爽快な憩いの場を作り出しています。

**松永代表『揺籃の地』岐阜県養老。その同じ地に生まれ育ち早くから『気学』や『方位学』の勉強と知見を深め**  
**実生活では順調な人生を送っていた……。**  
**運命の糸に手繰り寄せられるように出会い『風水住宅』を建てたことから一気に、その真髄を知ることとなる。**  
**以来2年半、順風満帆の人生が始まった……。**

## 風水住宅を訪ねて 三田様邸 岐阜県養老町

それまでの幸運な人生をより確かなものにしてくれた最大の契機が、家を建てることでした……。



### Q2 『風水住宅』に実際に住まうまでの軌跡をお話いただけますか……。

初めて松永先生のカウンセリングを受けた頃、ちょうど3人目の子供が妻のお腹の中において、引越しをとお考え始めていた時期でした。そのような折に、知り合いの業者さんから安く土地を譲るので、という話が来て……。しかし、自分たちが家を建てるのはもう少し先のことと考えていましたし、妻は当時、家業を手伝う準備のために大学に通っていて、学費などのこともあり費用的にも無理でした。

ところがいろいろながらみから、いよいよその土地を購入して家を建てるような話へと向かい、松永先生にせめて設計だけでも頼もうと再訪したところ、「その土地の上に立ち、5分間黙って留まってみてください」と言われました。

言われたとおりにしてみても、すべてが理解できませんでした。一見、良さそうに思えた土地でしたが、県道を通るトラックの騒音や近隣の畜産場の悪臭などがひどく、当然、これから家族が新しい生活を営むにはふさわしくない場所だということが瞬時にわかりました……。

ここから、自分たちでもびつくりするような「奇跡の連続」が始まりました。まず、銀行の融資枠が常識の額を超えて承認され、資金的な問題が解決しました。また、松永先生に薦めて頂いた土地を予算内で購入できることが決まり、以前からのしがらみも気がつくとも自然に解消されていました。次に、暖炉をどうしても作りたかったのですが、当初、その予算を捻出できずにいたところ、その資金が建築終了後に突然でき、結局、念願の暖炉付きのリビングルームを完成させることができました。おまけに、会社で進めていたローンも通り、その資金で家族5人がゆったりと乗れる新車にも乗り換えられることになったのです……。

松永先生と出合い、カウンセリングを受け、自分たちが納得できる家を『風水住宅』で建てると決心してからというもの、何から何までがトントン拍子で進んでいきました……。

右◇リビング 刺激的な色彩でフレームされたラウンドウィンドウが、リビングに活気をもたらします。

左◇ファミリールーム 屋根裏部屋から望むファミリールームには、空に向かって円形窓が開かれています。ここから差し込む光が空間の空気を丸くしてくれます。



風水インタビュー

## FENG-SHUI Interview

### Q1 松永代表との初めての出会い、きっかけは何だったのでしょうか……。

高校生の頃に「家相」や「気学」、「方位学」に興味をもち始め、いろいろな本や参考文献などを読み耽り勉強しながら、また、父が師事していた先生からの教えも参考に、「方位取り」などを自分の趣味としてやっていました。

実際に自分の生活の中でも活用してみても、「これは、確かに効果があるな」と実感していましたし、何よりもこの「目には見えない」不思議な世界のことを面白く「はまった！」という感じでした……。その後「風水」、「陰陽五行」、「四柱推命」などにも興味を広がり独学で勉強を続けていき、この世界のことについては、かなり理解が深まっていたと思います。

妻と知り合うきっかけも「方位取り」からでした。出会って3ヶ月で結婚したのですが、結婚式の日取りや新婚旅行もすべて「方位学」を使って決めました。実は、妻も以前からこの世界に少し興味をもっていたようで、「結果が良いのであればいいんじゃない？」とすぐに理解を示してくれた。結婚して10年になりますが、その後もあらゆる機会や局面で活用し、二人で絶えず話し合い、協力しながら今までの人生を幸せに過ごすことができています。

松永先生と出会うきっかけは、子供が通う保育園で妻が園児のお母さんたちと雑談するなかで「気学」や「方位学」の話題になったとき、「養老に凄い先生がいるらしいわよ」と聞きつけて来たことでした。養老に生まれ育ちながらも、それまでは松永先生のことをまったく知らなかった。

早速、松永先生の事務所を訪ねて、まずは著書を2冊買いました。「風水革命」と「幸せになる風水住宅」です。先に妻が読み、「とても納得できたわ」と聞き、私も食い入るように読みました。そこには驚天動地の理論展開があり、今まで知っていたものとは、まったく次元が違う世界の話でした。

今から考えると、この著書を読むまでの経験が土台や気づきとなって、松永先生と知り合い、自然に自分自身が「風水住宅」を建てることになる伏線を作っていたように思えます。

### Q3 実際に『風水住宅』に住まわれてみて、どのような変化や周りの人たちからの反応がありましたか……。

両親から「私たちは早まったな……。お前たちの家の方がずっといいなあ」と言われました。私たちが家を建てる前に両親が家を新築したのですが、私たちの家に来て、その使い易さや間取りの妙、また、居心地良さやデザイン性などを見て残念そうに語った言葉です。

妻は、自分でもびつくりするくらい掃除や片付けが苦手な主婦でした。ところがこの家に住み始めてからは、生まれ変わったように掃除、洗濯などの家事が楽しくなったと言います。特にキッチンには妻の友人曰く「主婦の理想の要素がすべて詰まった家ね、キッチンは本当に使い易いわ」という出来栄で、常にキレイに収納された状態です。また、その分、余計なものを買わなくなったという余裕まで付いてきました。

子供たちは、以前の家で暮らしていたときより見違えるほど元氣になり、いつも楽しそうに家の中で遊んでいます。子供たちがいつ、どこにいても見えるように設計されていることで、家族が一体であるという安心感と親近感が絶えずありますね。面白い話があつて、家の中で写真を撮ると時々、子供たちが「マッシュロソスケ」と呼んでいる「氣」が映るんです。あの「トトロ」に出てくる「マックロソスケ」ではなく「良い氣」の流れがはっきり写真に現れてくる。

私は、家に帰って家族全員でここで食事をするのが一番のお気に入りの時間です。その時間が仕事で受けたストレスや疲れを一瞬にして吹き飛ばしてくれる……。また休日、近所の川原で暖炉にくべる薪を作っていると近所の方たちから「良い趣味ですね」とお褒めの言葉を頂いたりして、実に気分が良いですね……。

最近、よく妻と話しているのは、会社の工場を『風水工場』に建て替えたいということです。この家を建てたときの折念が「財運増大」でしたが、仕事もとても順調に発展してきています。これからはより多くの人たちに貢献できる仕事をしていくためにも、この夢をぜひ実現したいと思っています。